

びわ湖大津秋の音楽祭参加公演

# 山月記

語りと舞楽と仏具おりんによる

## 第一部

雅楽演奏と解説

平調 越殿楽残楽

高麗楽 登殿楽

## 第二部

語りと琵琶

平家物語より「木曾最期」

## 第三部

「山月記」

語りと舞楽と仏具おりんによる

原作 中島敦 構成・演出 太田豊

出演

林 恒宏〈語り〉

太田 豊〈笛・琵琶・舞・おりん〉

岩佐 堅志〈笙・箏〉

松久 貴郎〈箏篋〉



# SANGETSUKI

平成28年  
10月8日[土]14時開演(13時30分開場)  
会場 大津市伝統芸能会館

# 山月記

語りと舞楽と仏具おりんによる

## 第一部

雅楽演奏と解説

平調 越殿楽残楽

高麗楽 登殿楽

## 第二部

語りと琵琶

平家物語より「木曾最期」

## 第三部

「山月記」

語りと舞楽と仏具おりんによる  
原作 中島敦 構成・演出 太田豊

出演

林 恒宏〈語り〉

太田 豊〈笛・琵琶・舞・おりん〉

岩佐 堅志〈笙・箏〉

松久 貴郎〈箏・箏〉



◆仏具おりんの楽器について  
仏具「おりん」の楽器は銅器産業が盛んな富山県高岡市で生まれました。調律したおりん二十五個を吊り下げ、撥で打鳴らします。美しく澄んだ音色と長い余韻が特徴で、古代中国にあった編鐘という楽器をヒントに「久乗編鐘」と名付けられています。「明治四十年創業の仏具メーカー株式会社山口久乗が開発しました。その音は北陸新幹線新高岡駅発車メロディーに使われるなど「街の音」として様々な場所で「高岡の音風景」を作り出しています。

平成28年  
**10月8日[土]**14時開演(13時30分開場)  
会場 **大津市伝統芸能会館**

入場料  
前売 **2,500**円(当日 **3,000**円) 全席自由席  
平成28年7月16日(土)午前10時から発売

チケットお申込み・お問い合わせ  
大津市伝統芸能会館 TEL **077-527-5236**  
大津市園城寺町246-24 HP [www.dentogeiokaikan.net/](http://www.dentogeiokaikan.net/)  
主催 株式会社研声舎・サウンドシンクオオタ  
大津市伝統芸能会館  
指定管理者 大津PAC&KIPグループ(株)ピーエーシーウエスト  
協力 株式会社山口久乗  
※未就学児のご入場はお断り申し上げます。記載内容は変更になる場合がございます。

### 林 恒宏 〈語り〉



ナレーター、音声言語指導者、俳優  
テレビ・ラジオ番組のナレーション、CMなどで活躍中。  
音声学講師の磯貝靖洋氏(Vocal Arts Service Center代表)に平成十四年より師事し、

現在「声とことばの磯貝メソッド」の正講師。北陸を中心に芝居でもない、朗読でもない「語り」の舞台を主催している。株式会社研声舎代表。声とことばの磯貝メソッド®金沢塾代表。石川県金沢市出身。

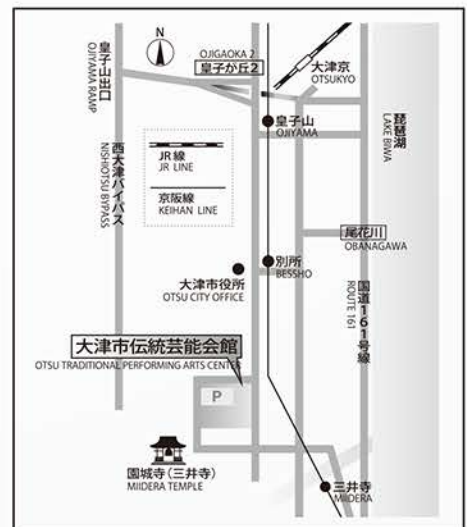
### 太田 豊 〈笛、琵琶、舞、おりん〉



音楽家・雅楽演奏家  
雅楽演奏家として笛・琵琶・左舞を専門とし、国内外での雅楽公演に出演。笛・左舞を元宮内庁式部職楽部首席楽長

安齋省吾氏に師事。また音楽家として様々な楽器を用いて舞台芸術のための音楽を制作し、多種多様なアーティストと共演。仏具「おりん」による北陸新幹線新高岡駅発車メロディーの制作など、和洋のハザマで多岐に渡って活動している。東京藝術大学邦楽科卒業。

### 会場へのアクセス



京阪石坂線「別所」駅から南へ約400m  
JR琵琶湖線大津駅からタクシーで約10分  
JR湖西線大津京駅からタクシーで約5分  
御来館者専用の無料駐車場がございます。(先着50台程度)

### 岩佐 堅志 〈笙、箏〉



雅楽演奏家  
十二歳より雅楽を始める。専攻の笛・左舞・琵琶の他、笙・箏・箏の演奏、雅楽曲の編曲までこなすマルチプレイヤー。笛・琵琶を上明彦氏、左舞を池邊五郎氏に師事。平成十一年に全国各地の若手雅楽演奏家の交流の場となるべく雅楽演奏ユニット「博雅会」を結成し全国各地で演奏活動を展開している。奈良県生まれ。

### 松久 貴郎 〈箏、箏〉



雅楽演奏家  
九歳より父の影響で箏を習い始める。専攻は箏、琵琶、左舞。天理大学雅楽部在籍時に箏を大窪永夫氏(元宮内庁首席楽長)に師事。関西を中心に名古屋・東京など全国各地で雅楽の演奏活動を行う。岐阜県出身。

主 席 楽 長 に 師 事。平 成 二 十 四 年 以 前 左 舞 を 池 邊 五 郎 氏 (元宮内庁首席楽長) に師事。関西を中心に名古屋・東京など全国各地で雅楽の演奏活動を行う。岐阜県出身。